



広島大学 日本食 発酵食品の革新的研究開発拠点
令和元年度

日時 令和元年12月2日 月 16:20～17:50
会場 生物生産学部 C201 講義室

細菌sRNAと標的mRNA間の塩基対形成 促進するHfq作用

講演者 森田 鉄兵 助教 鈴鹿医療科学大学 薬学部

微生物の遺伝暗号翻訳機構の多様性

講演者 相馬亜希子 講師 千葉大学 園芸学研究科



問い合わせ先 統合生命科学研究科 食品衛生学研究室

島本 整 tadashis@hiroshima-u.ac.jp

学術 社会連携室 環境遺伝生態学分野

丸山史人 fumito@hiroshima-u.ac.jp

本 は、研究科共同 として扱われます。



The Research Center for Japanese Foods 日本食・発酵食品の革新的研究開発拠点 — 日本食の機能性開発センター —

令和元年度 拠点セミナー

座子部 C201 講義室 2019年12月2日(月) 16:20~17:50 広島入子 生物生

微生物の遺伝暗号翻訳機構の多様性

相馬亜希子 講師(千葉大学 園芸学研究科)

tRNAによるコドンの認識は遺伝暗号の正確な翻訳に必須であるが、どのようなアンチコドンレパートリーを使うかは生物種によってさまざまである。本発表では、特に微生物tRNAの転写後修飾の機能や生合成経路を紹介するとともに、コドン-アンチコドン対合の多様性とその進化について考察する。